令和7年第2回定例会一般質問（3月12日）

稲村 雅司 議員　TEL090-9404-6382　P7

❶防犯灯のLED化とソーラー化について
❷漁港近くの運動場トイレの目的外利用と観光マナーについて
❸水難事故予防の取り組みについて

當山 達彦 議員　TEL966-2164　P8

❶海岸漂流物について
❷恩納村最終処分場の現状について
❸定住促進事業について

安里 周作 議員　TEL966-8352　P9

❶本村の「沿道除草対策事業」と沖縄県の「～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画」について
❷農業政策について
❸社会福祉協議会訪問介護閉鎖について

宮﨑 匠 議員　TEL090-9783-4624　P10

❶オーバーツーリズムの現状から考える宿泊税（観光目的税）の使途について
❷空き家の利活用等の定住促進策について
❸行政区運営補助金の増額について
❹若手漁業者におけるバース（船の停泊場所）不足について
❺官民連携による独立したシルバー人材センターの設置について

亀谷 梢 議員　TEL966-2115　P11

❶学校施設及び通学路の安全管理
❷職員の連携と意識のあり方
❸防災グッズ（持ち出し袋）の状況

令和7年第2回定例会一般質問（3月13日）

新城 哲 議員　TEL090-6864-5110　P12

❶施政方針から地域福祉の推進について
❷施政方針から農業の振興について
❸施政方針から観光業の振興について
❹施政方針から雇用の促進について

山田 政幸 議員　TEL967-8485　P13

❶県道104号線、及び村道沿いの危険木ついて
❷喜瀬武原小中学校跡地利用計画について
❸バス系統77番線の減便、ルート短縮について

大城 保 議員　TEL964-3841　P14

❶地域おこし協力隊について
❷交通安全対策について
❸各字への補助金について

佐渡山 明 議員　TEL966-2443　P15

❶修学旅行費の無償化について
❷恩納村環境整備事業について

大城 節子 議員　TEL965-3197　P16

❶幼児健診の視力検査について
❷避難道路について
❸仲泊南交差点の信号機について
❹トイレの付帯設備について

令和7年第2回定例会一般質問（3月14日）

當山 直彦 議員　TEL090-1945-6074　P17

❶訪問介護事業所閉所による福祉問題について
❷介護・福祉職の人材不足について
❸課題解決にむけた具体的取り組みについて

比嘉 秀康 議員　TEL080-6490-5658　P18

❶山田小学校のプール跡地の活用法について
❷産業まつりのホテル・カレーフェスタについて
❸不法投棄について
❹パークゴルフ場の建設について

大城 堅三 議員　TEL966-2393　P19

❶水産業の振興について
❷SDGs未来都市について
❸行財政運営での財政基盤の強化について
❹施政方針の各施策について

令和7年第3回6月恩納村議会定例会のご案内｜6月定例会開会は、6月4日（水）を予定しています。

稲村 雅司 議員

防犯灯のLED化とソーラー化について

質 LEDへの登録変更にかかる費用を現在の事業に充てれないか、また電気料の財政的支援ができないか。

答 総務課長（宮平 覚）
過去に蛍光灯の防犯灯が多数設置済みであることを踏まえると変更申請に多額の費用が必要であり自治会負担も厳しいものがあるかと考える。質問の変更登録申請費用に充てることができないか、また電気料金の財政的支援については各自治会の状況を詳しく確認した上で検討していきたいと考えています。

質 停電時でもスムーズな災害対応を行えるようにソーラー化した街路灯や防犯灯を設置してはどうか。

答 総務課長（宮平 覚）
避難所のソーラー化は、国の事業もうまく活用できればと考えています。街路灯のソーラー化についても器材性能の確認を踏まえ新年度で実証的にやっていくことを考えています。災害時は、停電も想定されるためソーラーバッテリーの防犯灯は有効かと考えています。

漁港近くの運動場トイレの目的外利用と観光マナーについて

質 多言語化した注意喚起パネルをつくって各場所に設置してはどうか。

答 社会教育課長（山田 俊幸）
真栄田漁港並びに恩納漁港も多言語の看板を設置し注意喚起を促していきたいと考えています。

答 農林水産課長（平安名 盛常）
瀬良垣漁港、前兼久漁港についても多言語対応の禁止行為を示した看板を設置し適正な利用に向けた対応が必要と考えています。

質 観光マナー啓発のパンフレットを提案したが進捗状況は。

答 商工観光課長（親泊 誠）
審議会などの会議を経て行う必要があると判断し、今年度は事業を見送っています。次年度予定しているオーバーツーリズム抑制対策協議会の中でマナーパンフレットについても協議し作成につなげられたらと考えています。

水難事故予防の取り組みについて

質 水難事故防止の取り組みは。

答 総務課長（宮平 覚）
注意看板の設置また、石川地区恩納水難事故防止推進協議会において、水難事故防止のための啓蒙活動、危険箇所の調査等を実施しています。

答 商工観光課長（親泊 誠）
村管理の海浜公園は、水難事故防止看板や遊泳区域指定及び危険生物侵入防止ネットの設置とともに監視員を配置、真栄田岬周辺活性化施設においても水難事故防止看板を設置し、どちらも荒天時の入水制限等による注意喚起を行っています。沖縄県の安全啓発ツールの周知広報を村観光協会及び村マリンレジャー協会へ周知し併せて村ホームページで発信しています。今年度、日本ライフセービング協会の事業で自然海岸の離岸流を検知するカメラを活用した「海辺の見守りシステム」を恩納村に設置。本格的に運用される見込みです。県の事業において、恩納村を中心とした巡回形式による海浜利用者への安全講習が通年で実施されています。沖縄県ライフセービング協会は、日本で初の機動救難所として認定され、事故発生時に公的機関と連携を取ることができるため、恩納村が調整役を担い消防組合との連絡手段を確立し、事故発生時には連絡を取り合い、協力して事態の解決に当たることとしています。

質 次年度のオーバーツーリズムの未然防止抑制による持続可能な観光推進事業をどのように進めていくか。

答 商工観光課長（親泊 誠）
令和7年度では、真栄田岬周辺活性化施設の適正利用を主に駐車場利用についてルールの厳格化を協議し適正利用を図ること。環境への負担軽減を推進するためエコツーリズム推進法活用に向け協議会を設置し運営体制の確立、実態把握調査、全体構想の策定、関係者への周知に取り組みながら令和8年度にかけて環境大臣へのエコツーリズム全体構想認定の申請に取り組む予定となっています。認定を受けた後は、エコツーリズム推進法に基づき海域等における利用ルールを定め、関係者への理解を求めながら運用することを考えています。